

一般国道45号 宇部北自歩道

整備概要

- 通学路に指定され、宇部小・中学生が日常的に利用。
- 道路幅員が7m未満で、自動車と歩行者・自転車の接触の危険性がある。
- 歩道を整備することにより、安全で快適な歩行空間の形成を図る。
- 歩道幅員3mの自歩道を片側に設置。

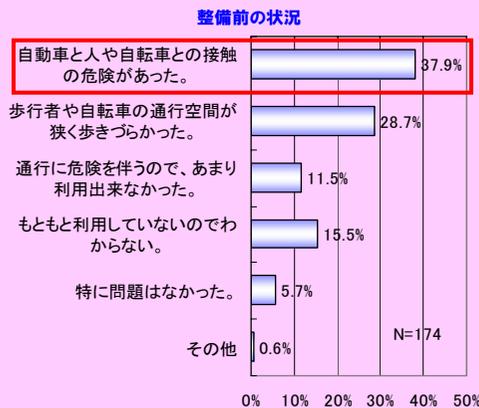


整備前の状況

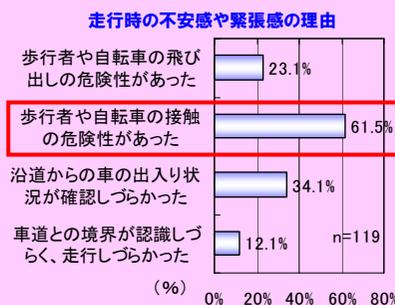
■ 整備前は歩行者、運転者双方ともに「自動車」と「歩行者・自転車」との接触の危険性を感じていた。また、人対車両の事故も発生している。

<利用者アンケート>

歩行者全体



運転者



■ 道路利用者の視点に立った整備効果の検証

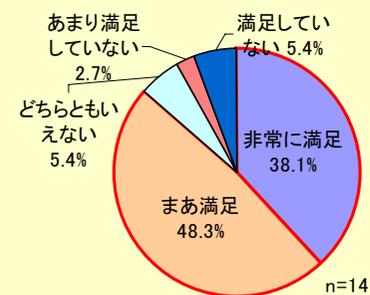
■ 歩道整備の評価手法として、歩行者やドライバーを対象としたアンケート調査を実施。

整備後の評価 (利用者アンケート)

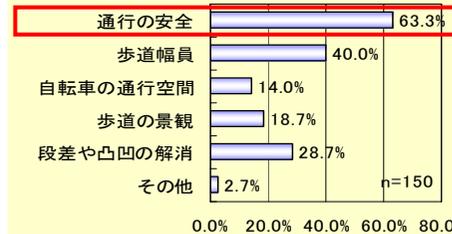
- 歩行者の約9割、運転者の約8割が整備効果を実感している。
- 歩行者は、通行の安全性、歩きやすさの向上を評価している。
- 運転者は、接触の危険性の減少により、不安感・緊張感が緩和し、走りやすくなったと評価している。

歩行者全体

整備後の満足度

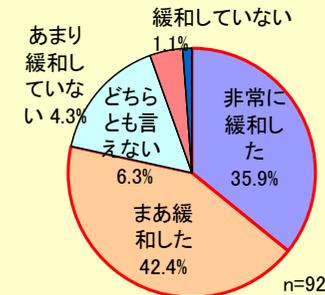


満足度の理由

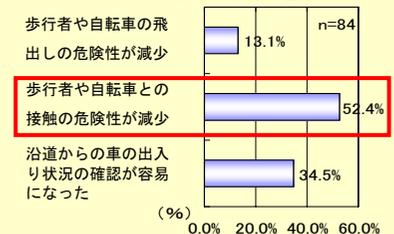


運転者

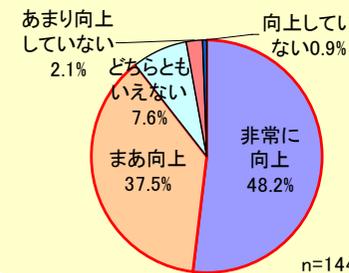
不安感や緊張感の緩和



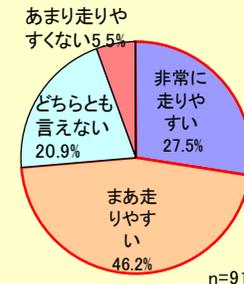
不安感や緊張感の緩和の理由



歩きやすさの向上



視線誘導などの走行の安定



【利用者アンケート】

- 実施時期 平成17年11月
- 実施対象 通学児童、沿道住民、一般ドライバー
- サンプル数 (歩行者) 150 (運転者) 94